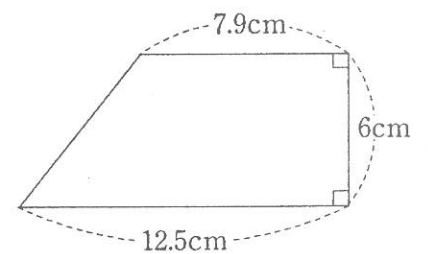


[1] にあてはまる数を書きましょう。(計算と答え)

(1) $5\frac{13}{37} \div (4.6 - 1\frac{2}{3}) + 33 \div 4\frac{2}{55} =$

答え

(2) 5万分の1の地図上に、右の図のような台形の土地があります。実際の面積は km^2 です。

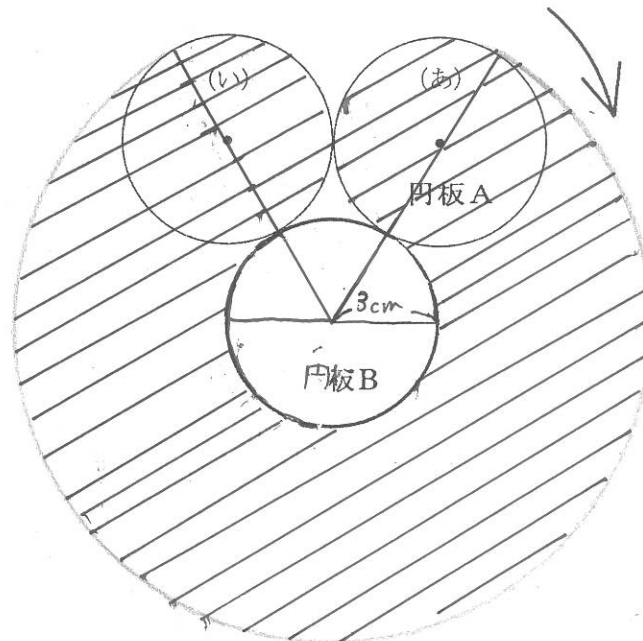


答え

[2] 半径3cmの円板A、Bがあります。
右の図のように、円板Aが円板Bの
円周にそって、(あ)の位置から
矢印の向きにすべらずに回転して、
(い)の位置まで動きました。

(1) 右の図に、コンパスと定規を
使って、円板Aが通った部分を
斜線しやせんで示しましょう。

(2) (1) の斜線部分の面積は
何 cm^2 ですか。
円周率は3.14です。
(式と計算と答え)



$$9 \times 9 \times 3.14 \times \frac{5}{6} - 3 \times 3 \times 3.14 \times \frac{5}{6} + 3 \times 3 \times 3.14$$

$$(81 - 9) \times 3.14 \times \frac{5}{6} + 9 \times 3.14$$

$$= 69 \times 3.14$$

$$= 216.66$$

答え cm^2

[3] ある仕事を、AさんとBさんの2人ですると3時間かかり、BさんとCさんの2人ですると4時間かかります。AさんはCさんの3倍の速さで仕事をします。3人の仕事の速さは、それぞれ一定です。

(1) Aさん、Bさん、Cさんの3人でこの仕事をすると、何時間何分かかりますか。(式と計算と答え)

全体 12

$$A + B = ④$$

$$B + C = ③$$

$$A - C = ① \rightarrow A = \frac{1.5}{0.5} \text{ 倍 } C = \frac{0.5}{0.5} \text{ 倍 } B = \frac{2.5}{0.5} \text{ 倍}$$

$$12 \div (1.5 + 0.5 + 2.5) = \frac{24}{9} = 2\frac{2}{3}$$

答え 2 時間 40 分

(2) 午後1時50分からAさん、Bさん、Cさんの3人でこの仕事を始めました。途中でAさんが帰^{とちゅう}り、BさんとCさんの2人で仕事を続けたところ、午後5時に終わりました。Aさんは午後何時何分に帰りましたか。(式と計算と答え)

$$B, C \text{ の } 2 \text{ 人の } 10 \text{ 分 } 52 \text{ 分 } \text{ 用 } (0.5 + 2.5) \times 3 \frac{1}{6} = 9.5$$

$$(12 - 9.5) \div 7.5 = \frac{2.5}{7.5} = \frac{1}{3}$$

答え 午後 3 時 20 分

[4] 1, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 31, ……のように、数字の1を1個以上使う整数を小さい順に並べます。

(1) 1000は何番目の整数ですか。(式と計算と答え)

1 ~ 99 1, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 31, 41, 51, 61, 71, 81, 91
 100 ~ 199
 200 ~ 299
 ⋮
 900 ~ 999

192 20
 1002 120
 192 20
 ⋮
 192 20

$$19 \times 9 + 100 + 1 = 272$$

答え 272 番目

(2) 2017番目の整数を答えましょう。(式と計算と答え)

~~1000~~ | 1 ~ 999 271 | 300
 1000 ~ 1999 1000 | 1300
 2000 ~ 2999 271 | 300
 3000 ~ 3999 271 | 300

4000 ~ 4099 19 20
 4100 ~ 4199 100 120
 4200 ~ 4299 19 20
 4300 ~ 4399 19 20
 4400 ~ 4499 19 20
 4500 ~ 4599 19 20

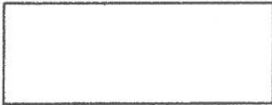
1813 2200
 1832 2220
 1932 2340
 1951 2360
 1970 2380
 1989 2400
 2008 2420

答え 4617

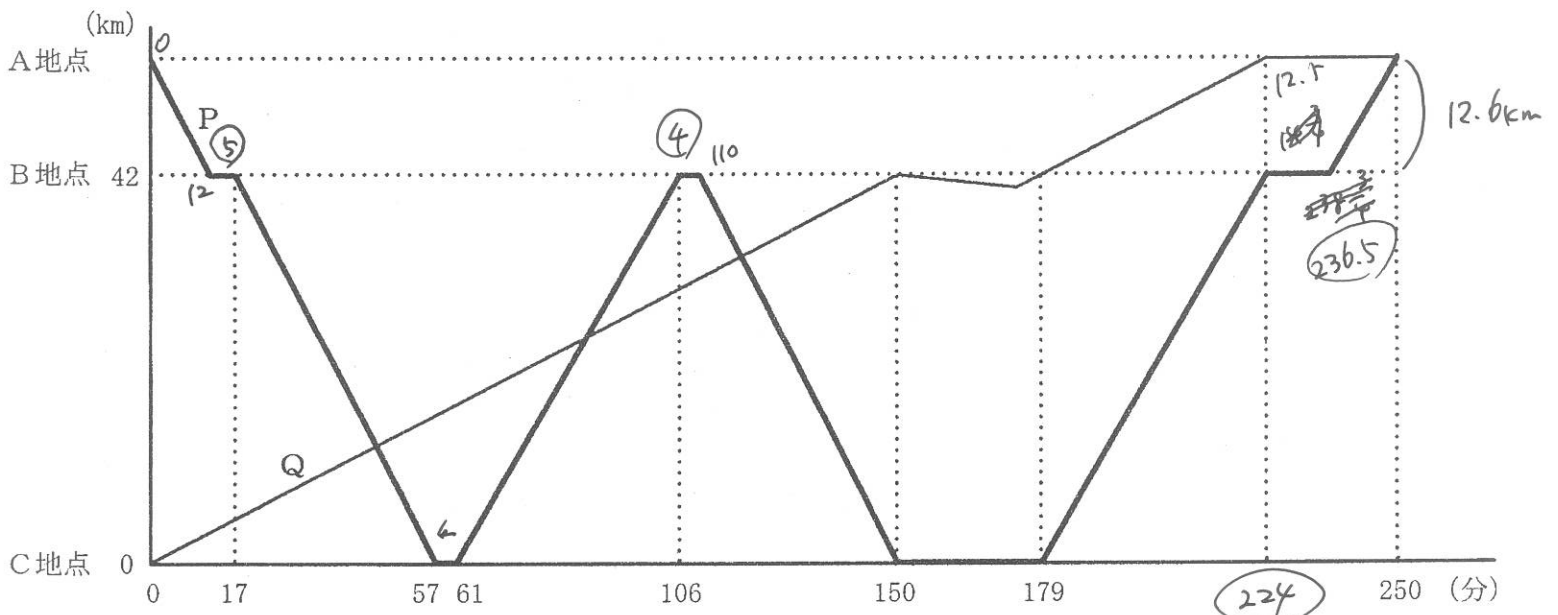
(3) 2017番目の整数までに、数字の1を何個使いますか。例えば、5番目の整数までには6個使います。(式と計算と答え)

4600 ~ 4617 9 10 2017 2430

答え 2430 個



[5] 川の上流にA地点、中流にB地点、下流にC地点があります。船PはA地点を、船QはC地点を同時に出発しました。下のグラフは、その後の様子を表したものです。船PはB地点、C地点でそれぞれ何分かずつ、とまりました。船QはB地点に着いたとき、エンジンが故障して止まり川に流されましたが、修理して元の速さでA地点に向かいました。川の流れの速さと、静水での船P、Qの速さはそれぞれ一定です。



(1) 船Pと船Qの静水での速さはそれぞれ時速何 km ですか。(式と計算と答え)

$$P_{\downarrow} \quad 40 \text{分} \quad 42 \text{km} \quad 63$$

$$P_{\uparrow} \quad 45 \text{分} \quad 42 \text{km} \quad 56$$

$$|| \quad 3.5$$

$$Q_{\uparrow} \quad 150 \text{分} \quad 42 \text{km}$$

$$42 \times \frac{26r}{150} = 16.8$$

答え	P	時速	59.5	km	Q	時速	20.3	km
----	---	----	------	----	---	----	------	----

(2) 船QがB地点に着いてから、元の速さで動き出すまでに何分かかりましたか。(式と計算と答え)

$$\leftarrow 3.5$$

$$\rightarrow 16.8$$

$$7 = 33.6$$

$$35 = 168$$

$$5 = 24$$

答え	24	分
----	----	---

(3) 船PがB地点にとまっていた時間の合計は何分何秒ですか。(式と計算と答え)

$$179 + 45 = 224$$

$$16.8 \times \frac{45}{60} = 12.6$$

$$\frac{12.6}{56.0} \times 60$$

$$\frac{630}{56} \times \frac{90}{8} \times \frac{45}{4}$$

$$\frac{126}{560} \times \frac{18}{80} \times 11\frac{1}{4}$$

$$\frac{9}{40} \times 60$$

答え	21 分 30 秒
----	-----------